

令和3年度 教友会 役員名簿

役職	氏名	課程	卒年	氏名	課程	卒年	氏名	課程	卒年	氏名	課程	卒年
顧問	薄井 俊二	学部長		清水 章夫	中	S30	岩佐正二郎	中	S37	金子美智雄	小	S43
会長	松澤 勇治	小	S50									
副会長	大澤 利彦	小	S52	蓮見木予子	小	S49	櫻井 康博	特	S54	福島 正美	小	S58
監事	木村 栄二	小	S47	岡田 謙司	中	S49	市村 和子	小	S51			
本部常任 委員	風間 昭治	男師	S26	市村良恵子	女師	S20	岡本 健	小	S33	大塚 彰	小	S48
	吉倉 清子	中	S49	野口 英世	中	S50	野口 忠	小	S50	笠原 浩	小	S51
	三村 昇	小	S53	秋本 文子	中	S53	石田 耕一	中	S58			
	安藤 聡彦	附中・校長		小倉 康	附幼・園長		細川江利子	附小・校長		吉川はる奈	附特・校長	
幹事	二瓶 剛*	附中・副長		小谷 宜路	附幼・副長		森田 哲史	附小・副長		池澤 健	附特・副長	
	三浦 直行	附中・校内教頭		※は幹事長								

教友会 学年理事名簿 (学年毎 五十音順) 令和3年9月20日改訂

卒業年	氏 名					
昭43	新井 功	稲葉 昭一	加藤 忠邦	金子美智雄	本田重次郎	
44	石井 昇	長嶋美知子	野口 淳一			
45	加々見健一	野原 晃	藤間 文隆			
46	大熊 光治	大塚 基司	丸山 綱男			
47	石田 拓喜	木村 栄二	久保忠太郎	清水 誠		
48	大岡 由男	大塚 彰	神山 則幸	小林 博武		
49	岡田 謙司	小川 詠二	瀧澤 重博	蓮見木予子	吉倉 清子	
50	井上 馨	梅山 健司	小谷野健史	野口 忠	野口 英世	平賀 健郎
	松澤 勇治					
51	市村 和子	内田 明	笠原 浩	平澤 香	若手三喜雄	
52	大澤 利彦	金澤 清久	千島 力夫	服部 純一	馬場 和久	
53	秋本 文子	高瀬 浩	馬場 弘昭	三村 昇	山本 耕司	
54	磯 真砂子	内田 道雄	角田 守	櫻井 康博	田辺 暁己	中村 健
55	田村 俊一	守屋 敏夫	吉田 睦代			
56	加藤 修	加藤 美幸	武井 悟	長谷川 博		
57	足立 泰行	清水 隆	松本 浩			
58	石田 耕一	関 克則	福島 正美	山田 晋治		
59	坂田 真澄	引間 和彦	真武 公司	吉野 寿一		
60	新井 宏	來嶋実樹子	嶋 徹	杉田 勝弘	中野 浩義	平沼 智
	森 裕子					
61	肥土 耕一	石井 宏明	金子 正	長江 清和		
62	五十嵐和彦	木村 浩	竹田 聡	中西 健二		
63	伊藤 秀一	田島 孝志	本莊 真			
平1	石原 博之	駒崎 弘匡	馬場 敏男	引間 陽子		
2	椿 智絵	長島クミ子	山根 淳一			
3	牛久 裕介	上園竜之介	岸田 健吾	高野 達	野口 高志	
4	栗原 敏枝	白石徳一郎	野口千津子			
5						
6	神田 卓也	下妻 淳志	細村 一彦			
7	大井 敏彰	塩崎 陽子				
8	古賀 玲香	馬場 雅史	綿貫 功			
9	八坂 和典					
10	五十嵐 淳	岡田 大助				
11						

卒業年	氏 名					
平12	佐藤 太一	高橋容史子	二瓶 剛	橋本 慎也		
13	安藤 栄信	興野 邦孝				
14	野口 勝義	松下 洋介	三浦 直行			
15	武久 浩之	森田 哲史	矢島 弘一			
16	勝俣 寿子	杉山 直樹	南 登志正			
17	岩田 信之	島田 直也	高橋 太一	若村 健一		
18	笠原 俊	山本 孔紀	森川 大地	吉野 竜一		
19	内田 敦子	塩盛 秀雄	渡邊はるか			
20	五十嵐 巧	石高 吉記	坂井 貴文	杉山 愛	谷津 勇太	吉田みゆき
21	大関さわ子	岸本 航司	関口 泰広	藤田 明人		
22	阿部 健作	納見 梢	肥田 幸則	吉田 真梨		
23						
24	安藤 健太					
25	蓬澤 守					
26	内田貴美子					
27	三橋 博道					
28	大野 洋嗣	萩原 綾乃	橋本 柊平	渡邊 諒太		
29	七五三木侑乃					
平30	阿部 香織					
31/令1	秋元 祥広	山岸 実桜				
2	池上 直毅	池淵 大樹	落合 美沙	榊原 裕也	道村 夏絵	
3	岸 拓実	中村 優希	平野 幸奈	松本 紗季		

※令和3年度新たにご承諾頂いた方に学年理事を委嘱いたします。
※学年理事を追加したい場合には、ご本人の承諾を頂いた後、卒業年・氏名・住所・電話番号等を学年理事を通じてご連絡ください。
確認のうえ委嘱いたします（メールかFAX、HP「お問い合わせ」で、お願いいたします）。

教友会（埼玉大学教育学部同窓会）会則 第1章 総 則 第1条 本会は教友会（埼玉大学教育学部同窓会）と称する。通称として、教友会を使用することができる。 第2条 本会は、会員相互の親睦を厚くし、併せて教育の振興を図ることを目的とする。 第2章 事 業 第3条 本会は、以下の事業を行う。 1 会員の親睦共済に関すること。 2 教育振興に関すること。 3 奨学に関すること。 4 その他、本会の目的を達成するために必要な事項。 第3章 組 織 第4条 本会会員は、次の2種とする。 1 正会員 (1) 旧埼玉師範学校男子部卒業生 (2) 同女子部卒業生 (3) 旧埼玉青年師範学校卒業生 (4) 埼玉大学教育学部卒業生、教育専攻科修了者、特殊教育特別専攻科及び大学院教育学研究科修了者 (5) 埼玉大学教育学部附設教育養成機関の1年以上の修了者 (6) 埼玉大学教育学部、特殊教育特別専攻科及び大学院教育学研究科に在籍している者（以下「学生会員」という。） 2 特別会員 (1) 埼玉大学教育学部教員 (2) 同附属学校園教員 第4章 役 員 第5条 本会に以下の役員を置く。 会 長 1名 副 会 長 若干名	監 事 3名 本部常任委員 20名程度 学 年 理 事 各学年若干名 幹 事 若干名 第6条 会長、副会長、監事は本部常任委員会で選出する。 第7条 本部常任委員は会長が委嘱する。学年理事は本部常任委員会で選出し、会長が委嘱する。 第8条 幹事は、会長が委嘱する。 第9条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任することを妨げない。ただし、会長の任期は、原則として2期までとする。 第10条 役員の任務は、以下のとおりとする。 会長は、会務を処理し議長となる。副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はこれを代理する。監事は、会計を監査する。幹事は、必要により会務の処理に協力することができる。 第11条 本会に顧問を置くことができる。顧問は次の各号に該当する者の中から本部常任委員会の同意を得て、会長が委嘱する。 1 埼玉大学学長及び教育学部長の職にあった者並びに現職にある者 2 その他、本会に功勞のあった者 第5章 会 議 第12条 会議は総会、委員会、正副会長会、本部常任委員会とし、会長が招集する。 第13条 総会は毎年1回これを開き、予算決算並びに重要な会の事業を議決する。必要により、臨時に総会を開くことができる。ただし、本部常任委員会を以て総会に代えることができる。 第14条 本部常任委員会は、各種の原案作成、並びに会務及び事業を議決し、その執行に当たる。 第6章 会 計 第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌	年3月31日までとする。 第16条 本会の経費は、会費及びその他の収入による。 第17条 会費の額及び徴収方法、並びに寄付金その他の拠出金の募集については、本部常任委員会の決議により定める。 第7章 事 務 局 第18条 本会は、その事務を処理するため、当分の間、埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター内に事務局を置く。 1 事務局には、本部常任委員会が推薦し、会長が指名した事務局長を置く。 - 事務局長は、本会の庶務及び会計を掌る。 2 事務局長は、すべての会議に出席することができる。 3 事務局には、事務局員等を置くことができる。 4 事務局長、事務局員等には、報酬・交通費を支給することができる。 第8章 付 則 1 本会に必要な細則は別にこれを定める。（以下略） 教友会（埼玉大学教育学部同窓会）細則 1 会費は、原則として本会入会時に3万円（終身会費）を一括納入するものとする（終身会費を納入した会員を「終身会員」という）。 2 卒業後、入会を希望する者は、終身会費として1万円を納入することにより、終身会員となる。ただし、昭和63年3月までに卒業した者は5千円とする。また、平成30年度以降に入学した会員が、卒業・修了後に終身会員を希望する場合は、2万円とする。 3 一度納められた本会の会費は、原則としてこれを返却しない。
---	---	---